

先週は、私が日本に行って留守にしていたので、ゲストスピーカーとして尾崎一夫先生をお招きし、御言葉を取り次いでいただきました。いかがでしたか？主の恵み豊かな礼拝の時をもたれたことと信じます。さて、今日からまたシリーズ「全能の神に導かれて」を再開していきます。みなさんは、前回（2月13日）のメッセージを覚えておられるでしょうか？『強くあれ』と命じられる方』という題で、モーセに次ぐイスラエルの新しいリーダーに立てられたヨシュアに対して神様が御言葉の約束と励ましを与えられるというところから学びました。

Last week while I was in Japan, we invited Rev. Kazuo Ozaki as a guest speaker to deliver the message. Did you enjoy him? I believe you all had a blessed time of worship. Today, we continue on the series of "Being Led by Almighty God". Do you remember the message from two weeks ago? We had learned how God called Joshua to be a new leader of Israel after Moses, and how God gave Joshua the word of promise and encouragement.

モーセとともにおられたように、主はヨシュアとともにおられるので、彼は恐れることなく、強く、雄雄しくあつて、すべての御言葉を守り行うようにと主は彼に命じられました。それによってヨシュアが行く所どこにおいても、彼は祝福され、栄えることを主は約束されたのです。今日も前回と同じ聖書の箇所を開いていますが、特に3-4節に焦点をあてて見ていきたいと思っています。

Just as He was with Moses, God was with Joshua. Therefore God commanded Joshua not to be afraid, to be strong and courageous, and to keep His word. God promised that Joshua will be blessed and to prosper wherever he goes. Today we're going to look at the same verses from the last time but especially focus on verse 3 and 4.

神様はここで「あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく...あなたがたに与えている」と言っておられます。「足の裏で踏む所」とは、イスラエルの民が実際に出て行って、自分たちの足で踏み入れる地のことです。つまり、神様はご自分が与えると約束された地に、イスラエルの民が自ら入っていくことを期待しておられるということです。神様は彼らが荒野に留まった状態で、彼らのところに約束の地をもたらずとおっしゃったのではなく、彼ら自身がそこに信仰をもって自分たちの足を踏み入れていく時に、そこは彼らのものになると主はおっしゃったのです。

God says that "I will give you every place where you set your foot...." 'The Place where you set your foot' means the place where the Israelites actually go out and set their feet upon. In short, God is expecting the Israelites to step into the land which He promised them to give. God did not say that He will bring the promised land to the Israelites, as they were waiting in the wilderness. He said that the land will be theirs, when the Israelites will step into the land with their faith in God.

神様はここでヨシュアに信仰の歩みを踏み出すように命じておられるわけですが、そのことはこの後の3章でイスラエルがヨルダン川を渡る出来事からもわかります。みなさん、出エジプトの時に、紅海の水はどのようにしてわかれたのでしょうか？出エジプト記14章21-22節を見てみましょう。「21 そのとき、モーセが手を海の上に差し伸ばすと、主は一晩中強い東風で海を退かせ、海を陸地とされた。それで水は分かれた。22 そこで、イスラエル人は海の真中のかわいた地を、進んで行った。水は彼らのために右と左で壁となった」。

God is commanding Joshua to step out in faith. This is also clear from Joshua chapter 3, where the Israelites cross the Jordan River. Do you remember how the red sea parted when they escaped from Egypt? Let's look at Exodus 14:21-22; "Then Moses stretched out his hand over the sea, and all that night the Lord drove the sea back with a strong east wind and turned it into dry land. The waters were divided, and the Israelites went through the sea on dry ground, with a wall of water on their right and on their left."

では、ヨシュア率いるイスラエルがヨルダン川を渡る時はどうだったのでしょうか？主はヨシュアに告げられました。「あなたは契約の箱をかつぐ祭司たちに命じてこう言え。『ヨルダン川の水ぎわに来たとき、あなたがたはヨルダン川の中に立たなければならない。』」(ヨシュア3:8)。まず祭司たちが川の中、すなわち、水の中に立たなければならないと主はおっしゃいました。そして実際に祭司たちの足が水ぎわに浸った時に、上から流れ下る水はつつ立って、水はせきとめられたのです(同3:15-16)。

Then, how was it when Joshua led the Israelites to cross the Jordan River? God told Joshua, "Tell the priests who carry the ark of the covenant; 'When you reach the edge of the Jordan's waters, go and stand in the river.'"(Joshua 3:8) First God told him that the priests need to stand in the river water. When the priests' feet actually touched the water, the water from upstream stopped flowing, and it piled up in a heap. (Joshua 3:15-16)

出エジプトの時には、水が先に分かれたのを見て、民はその中を歩いて行きましたが、今回は彼らの足の裏が先に水に浸った時に、水は分かれたのです。つまり、彼らが主のおことばを信じて足を踏み入れるまでは、水がわかれるかどうかは彼らにはわからなかったのです。しかし、彼らが信仰の一步を踏み入れた時に、主はヨルダン川の水をせきとめられたのでした。

At the exile from Egypt, the Israelites first saw the water parted and then they walked on the dry land. This time, the water parted when the priests' feet actually touched the water. That means they did not know if the water would part or not, until they stepped into the river, believing what God had told them. However, when they had stepped out in faith, He stopped the water from flowing.

神様というお方は、ご自分が約束されたことを必ず成し遂げられます。今日のテキストでも、「わたしがモーセに約束したとおり」とあるように、神様はご自分のなされた約束に基づいて、イスラエルを祝福のうちに導いておられることがわかります。また、神様はここで「与えるだろう」「与えるかも知れない」ではなくって、「与えている」と言われるのです。神様には約束を実現することが可能なので、それがたとえ私たち人間の目には現実のものとなる前であっても、神様にとっては、ご自分の約束はすでに現実のものとなっているのです。

God surely accomplishes what He had promised. Just as today's verse says "as I promised Moses," we can see that He had led the Israelites in blessing according to the promise He had made. God does not say "I may give you" or "Maybe I will give you.", He says "I give you". He can fulfill the promise He made. Even before the promise is realized before our eyes, for God, His promise is already fulfilled.

ヨシュア記12章を開くと、そこには「…の王ひとり」という言葉が、続けて記されています。そして、12章の終わりの節では「合計31人の王である」と書かれています。この31人の王は、神様がヨシュアとイスラエルに約束されたカナンに地に住む者たちでした。つまり、ヨシュア率いるイスラエルは、それらの国々と戦って勝利をおさめていったということです。結果だけを見ると、彼らが一瞬のうちにカナンの地を取ったように思えます。しかし現実には、彼らは31以上の信仰の戦いを一つ一つ経て、主の約束された通りにカナンの地を自分たちのものとして受け継いでいったのです。

In Joshua chapter 12, the phrase "the king of one" are written repeatedly. In the end of the chapter, it is written "thirty-one kings in all.". Those were kings who lived in the land of Canaan, which God promised to Joshua and the Israelites. The Israelites fought all those nations and won each one of them. If you just look at the result, it looks like they instantly won over the land of Canaan. However, in reality, they fought more than 31 spiritual wars and eventually inherited the land that was promised to them.

このようなイスラエルの歩みを思う時に、神様は私たちの歩みにおいても同じように導いておられることがわかります。神様は御子イエス・キリストを通して私たちをご自分の子どもとすることを約束しておられます。ですから、子である私たちが父なる神様に信頼を寄せ、その御言葉に従って歩むならば、私たちは一つ一つ主から約束された祝福を受け継いでいくのです。ですから、たとえ目の前に困難が立ちほだかるようなことがあっても、恐れず、強くあって信仰の歩みを進めていく必要があります。そうすれば荒野が私たちの行く着くところになることはありません。主は荒野なんかとは比べものにならないすぐれた天の御国を私たちに約束して下さっています。

As we look at the way the Israelites walked, it reminds us that God leads us in the same way in our spiritual walk. God promised to make us as His children through His Son Jesus Christ. Therefore, if we, as His children, trust in Father God and walk according to His word, we can inherit each of the promised blessing. Therefore, we need to not to be afraid, and be strong, and proceed in our spiritual walk even when we were encountered with difficulties. If we do, we will not end up in the wilderness. He had already promised us His Kingdom, which is no comparison to the wilderness.

マルコ福音書11章22-24節において主イエスはこのように語っておられます。「22 イエスは答えて言われた。『神を信じなさい。23 まことに、あなたがたに告げます。だれでも、この山に向かって、『動いて、海にはいれ。』と言って、心の中で疑わず、ただ、自分の言ったとおりにすると信じるなら、そのとおりになります。24 だからあなたがたに言うのです。祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります』」。

Jesus said in Mark 11:22-24; "Have faith in God," Jesus answered. "I tell you the truth, if anyone says to this mountain, Go, throw yourself into the sea, and does not doubt in his heart but believes that what he says will happen, it will be done for him. Therefore I tell you, whatever you ask for in prayer, believe that you have received it, and it will be yours."

主イエスは、「祈って求めるものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになる」と言われま
す。いかがでしょうか？今日、あなたの祈る祈りは、そのようなものでしょうか？神様に祈りつつも、受けられるか
どうかはわからないと神様の全能さを疑うような心で祈るといえることはないのでしょうか？ここで主は「山に向かって
動けと言ひ、疑わずに信じるなら、そのとおりになる」といわれますが、そのようなことは果たして本当に起こるの
でしょうか？

Jesus tells us "Whatever you ask for in prayer, believe that you have received it, and it will be yours." How about you? Are you praying in such a way? Have you ever prayed, as you doubt the almighty God, thinking you may not receive it? Here He says, "If anyone says to the mountain to move, and does not doubt but believes, it will be done." Is such thing possible?

イスラエルにとって、エジプトからの救いも含め、彼らがカナンの地を占領することは、実に山を動かすような出来
事でありました。そのことはカナンの地を偵察にいった12人族長のうち10人が証言しているとおりで
す。彼らは神で
はなく、自分たちの力にフォーカスすることによって、目の前の問題（敵）に対して自分たちにはそれが大きすぎて解
決することができないと結論づけました。ですから、彼らは自分たちの常識の世界から信仰をもって外に踏み出すこ
とをせずに、今いるところに留まることを選び、荒野の地で息絶えたのです。

For the Israelites, exile from Egypt and occupying the land of Canaan were the same thing as moving the mountains. Just as the 10 out of 12 leaders who spied on Canaan testified, they concluded that their enemy was too big for them because they were focusing on their own power, instead of relying on God. Therefore, they could not step out in their faith. Instead, they chose to stay where they were, and died in the desert.

けれども、たとえ自分たちにはできなくても、主が与えると約束されたことは、主ご自身がそれを実現されます。そ
のことを信じたヨシュアとカレブは、31人の王たちを退け、約束の地を受け継ぎました。神様はヨシュアと人々の信
仰を通して、実に山を動かすようなことをイスラエルの上になされたのです。主イエスは言われます。「祈って求める
ものは何でも、すでに受けたと信じなさい。そうすれば、そのとおりになります」と。あなたはこの主のおことばを信
じますか？信じるならば、主が生きて働いておられることを体験的に知ることができます。それが信仰の世界のすば
らしさであり、信じる者に与えられている神様の恵みなのです。

However, when God promises something, He will fulfill even when it is impossible for us. Joshua and Caleb believed it, so they defeated 31 kings and inherited the land. Through Joshua and the people's faith, God surely did His work on the Israelites that seemed as difficult as moving the mountains. Jesus said, "Whatever you ask for in prayer, believe that you have received it, and it will be yours." Do you believe His word? If you believe, you will experience that God is alive and working among us. That's a wonderful thing about faith, and it is the blessing of God which is given to those who believe in Him.

ヘブル書11章6節に「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を
求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです」と記されています。なぜ私たちにはそ
のような信仰が必要なのでしょう？それは神様が実際に存在される方であり、求める者には報いて下さる方である
ことを私たち自身が知るためです。それによって神様の栄光をほめたたえるためです。神様は御言葉による約束を与
えることによって、それを信じる者には必ず報いて下さるのです。

Hebrews 11:6 says "And without faith it is impossible to please God, because anyone who comes to him must believe that he exists and that he rewards those who earnestly seek him." Why do we need such faith? It is because we need to know that God really exists and He rewards those who seek. (By knowing God through faith,) we praise the glory of God. He gives us the promise by His word, and surely rewards those who believe.

今日のテキストの4節にはイスラエルの領土について記されています。神様はイスラエルがその地に足を踏み入れる前に、大きなピクチャーを見せることによって、彼らが得る地がどこなのかを示しておられます。しかし、イスラエルが実際にその地を受け継ぐにあたっては、一つ一つの国を攻め取る必要がありました。つまり、神様が私たちに約束してられる祝福というものは、漠然としたものではありません。一つ一つが具体的なものなのです。ですから、私たちは具体的に主に祈り求める必要があります。信仰をもって一つ一つの問題や課題に祈りをもって取り組んでいくなれば、主は必ず勝利を与えて下さいます。

Joshua 1:4 describes the territory of Israel. By showing the entire picture, God is showing them where they can obtain even before they enter the land. However, it was necessary for them to attack against each nation to inherit the land. God's promised blessing is not vague. It is specific. Therefore, we need to pray and ask Him specifically. If we tackle each issue and problem with faith, He will surely give us the victory.

いかがでしょうか？ 今日、あなたはご自分の歩みにおいて、勝利のない領域がありますか？ 過去において、現在において、また将来において、あなたを敗北者のようにする敵や問題はありませんか？ とともに全能の神に頼ろうではありませんか。具体的な祈りの課題をもって、主に祈り求めようではありませんか。神様とともに歩みにおいて必要なのは、主を信頼して信仰の一步を踏み出すことです。主は信じる者とともにいて、祝福を与えていると約束して下さっていますが、そのことを信じて疑わずに受け取っていくのは私たち自身です。ともに与えられた信仰をフルに働かせ、主から一つ一つ祝福を受け取っていくお互いとさせていたただこうではありませんか。

How about you? Do you have any territories in your life where you have not have won yet? Is there any problems or enemies in past, present, and future, that makes you defeated? Let us rely on our Almighty God. Let's pray and ask Him specifically. What is necessary in our walk with God is to trust in Him and step out in faith. God promised that He will be with those who believe in Him, and give them His blessing but we need to receive it without a doubt. Let us be the ones to receive each blessing from Him, as we maximize our God-given faith.

最後にマタイ福音書7章7-11節を読んで終わりにします。「求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。8 だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。9 あなたがたも、自分の子がパンを下さいと言うときに、だれが石を与えるでしょう。10 また、子が魚を下さいと言うのに、だれが蛇を与えるでしょう。11 してみると、あなたがたは、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがありますでしょうか」。

Let me finish this message by reading Matthew 7:7-11. "Ask and it will be given to you; seek and you will find; knock and the door will be opened to you. For everyone who asks receives; he who seeks finds; and to him who knocks, the door will be opened. Which of you, if his son asks for bread, will give him a stone? Or if he asks for a fish, will give him a snake? If you, then, though you are evil, know how to give good gifts to your children, how much more will your Father in heaven give good gifts to those who ask him!"